

# 寺報

龍正寺

日なた 181号

念力

日  
延



<令和 5年 6月>

宝龍会  
護持会

# 令和5年大祈禱会



令和5年4月16日（日）13時から



仏様と感応道交（かんのう  
どうきょう）できるよう一  
心に手をあわせました。

絵馬・熊手・福俵に願いを  
込めて



# — 狂 職 一 言 —

妙法蓮華經普賢菩薩勸發品第三十八

毎月18日に檀信徒さんと共に読誦いたします。

「所願不虛」からの訓読です。

「所願虚しからず亦現世に於て其の福報を得ん、若し人有りて之を輕毀して言はん、汝は狂人なるのみ、空しく是の行を作して終に獲る所無けん」と、是の如き罪報は當に世々に眼無かるべし、若し之を供養し讚歎すること有らん者は、當に今世に於て現の果報を得べし、若し復た是の經典を受持せん者を見て其の過惡を出さん、若しは實にもあれ、若しは不實にもあれ、此の人は現世に狂癩の病を得ん。」

「解説」必ず現世においてよい報いを与えるのである、もし世の中の入々の中に、法華經をたもつとおとい人を輕んじて「汝は狂人のようなものだ、教をせよめるとか、道を教えるとかいっても、なにもらえるところはないうけないか、そんな骨おりはおたなことだ」となことをいって、せしめる人があるならば、その罪業は、いのように大きなものである、いふど生れても眼のない者に生れるのである、



この法華經を世に以りめる人を供養したり讚歎したり、  
品物を供養したり、敬いをするならば、この世においてただちに善い果報をえて、幸福なる者になるのである。

もしこの法華經を受持し実行する人のまちがいを見付けたりして世間に吹聴する者は、うそをこしらえてやるのは無論悪いけれどもたとえほんとうのことであっても悪いことである。また仏でない限り強いてそのあやまちを求めらばあやまちもあるでしょう、あやまちを世の中に以りて、その人を失望させ仏になる心掛けを失わせるのである。法華經を以りめるといふ大きな仕事をすゝめる人のあやまちを算えることは大なる罪惡である。もしそういうことをした者は現世において白癩の病をえるのである。

合掌

続きは次号で

南無妙法蓮華經

# 「妙法の有馬記念」

今から6年前.. 2017年の秋頃に私は寺院にて  
佐口上人との雑談の中で... 両親のお墓の話に及びました...  
私の両親は20数年前に他界しており  
先に逝った母の遺言で、祖父母の墓に埋葬しました..  
その5年後に父が逝き、父もそのお墓に埋葬したのですが  
その事が後々父を苦しませる事になるとは思いもしませんでした。  
その話を佐口上人に「それは間違っている」と指摘を戴きました。  
その年の私の家族は何かと揉める事が多くあり、険しい日々が  
続きました.. 佐口上人は「原因はその墓にある」と教示を  
戴き.. 先ずは母方の先祖霊魂を永代供養儀式を行い  
その古いお墓を墓終い儀式を行い...  
新たに新墓地を建立し父母の墓開きを行う流れと  
なりました..  
私の実家は広島県尾道市の中々と行き来が出来ないので..  
近隣に住む弟夫婦に新墓地の土地探しから墓地の発注等  
をお願いをし、代わりに私は新墓地に掛る土地代と墓石代を  
用意しました..

私事としてさせて戴く上は金額的を話すのは少し鳥獣しいですが..  
永代供養費が70万円(墓内に骨つぼ8個)と新墓石代が  
255万円となりました..  
その金額を12月中旬頃に墓石会社に銀行振込をした直後に

今年の風物詩である競馬の有馬記念がありました..  
私は3枚の馬券を買いました。

その年の有馬記念は歌手の北島三郎の馬が1着となり  
人気のない馬が2着、3着となり万馬券となり払ったが...  
私の買った3枚が全体的中となり、換金場で計算してみると  
払戻金が253万円となりました。。

私は不謹慎ながらも「お墓代金が戻ってきた」と驚くと同時に  
仏様からのお返しを受けたいのは摩訶不思議なお力に  
感謝しかありませんでした。

佐口上人から「あなたのお両親が助けしてくれたのさほう」と講義を頂  
きました。

その年が明け春彼岸の最中に新墓地の墓開きを行う事が出来、  
5月末には古い墓石を撤去を済ませて無事に終わる事が出来ました。

私の人生の中に於いても大変貴重な体験であり、全てが必然の  
流れの中で教えられたように思えてなりません。。

また一蓮の華の中で佐口上人には大変にお世話になり多くの教示を  
戴けた事に改めて感謝致します。。

おれから6年が経ちました...

親子の絆は、親が死んであの世で苦しめば、子も抹苦汁が来る。

子が幸せで居れば親も喜びと幸せでいられます。。

私自身の日々の行いにおもて供養は出来る事を学びました。

この法華経に「縁を頂けた事に感謝をし、精進を重ねて行きます。

# 「尊い命」

永遠の命を思ひます その尊い命に  
感謝のお礼を申します

空気の中で 尊い空気をもらい…吸って  
吐いて 吸って吐いて…深い呼吸より

身の中にある毒のような もろもろがさーと  
消えてゆく…と法々経の本より学びました

お題目のおかげさまと思ってみます  
何事にも勝て有り難さではないでしょうか…

ゆたくりは木よりとか 新聞より 自合の合いごと  
なことばだったり 自合の思いと同じる柄に  
出会える文面などを ノートに残します

詩的な心を思ったり いたづらに イラストを  
書いてみたりして ノートを楽しく使っています



そんなことが大スキです

稽: 中日新聞の干支の運勢らんには  
言葉が短かくて心の学びが得られる  
ように思っています。

百日の苦より

一日の幸せに  
よる: びに 出会える  
たのしみ

誰しもそれぞれに

生きてゆく道に苦あり

しみありと...

「順風満帆」とはなかなかの  
が人生の道のようなのです!

それらを乗り越えたところによる: び たのしみ  
出会えることの教えるように思っています

幸せは西にもあらず 東にもあらず

南(みな)北(あ) **道**にあり教える

若: 頃: 学びました... (とらわれない心) の学びと  
(こたわらない心) 心に残って  
(かたよらない心) います。



最近テレビより流れぬニュースは毎日の  
ように事件事故殺人詐欺などの  
思いもよらぬこと等々：心が痛みます

仲良しのお二人が日課の散歩の  
途中にまさかの事件に遭遇...

まさかの坂の恐さを感じてみます

いつ何がどこで起はかわからぬ

今に 今も家族一同に 何事もなく

の一日による：びのお題目を一心に唱  
えておれを申さねばと存じます

わたくしも 今も一日に転倒もなくいい日  
の一日でございました... 大きな声で話して

よく笑って... 食事もおいしくて... 日も夜も  
よく休めます ありがたいおかげさまに 心よりの

お題目でおれを申します!! 大きな尊い七文字の

南無妙法蓮華經と学びます

ありがとうございます

合掌

## 終 活 (心の整理)

母が施設に入所、終活の片づけをしています。使用済みの紙袋、スーパーのビニール袋、菓子箱、缶、ひも等々、何かに使えろと思っ、残っていた物ばかりです。母の誕生日や母の日のプレゼントした衣料品やカバン等も新品のまま、シミがかった状態、で出てきました。きつとも、たいないと、押し入れの奥へしまい込み忘れてしまっていたのでしょう。

この2~3年は「あしがない、こしがないから買、て来て。」という言葉が多くありました。押し入れの中からは値札がかったまま出てきました。「私を見ると買って!」と言、っていたのです。古着も山ほど処分するのも大変です。弟とお互い仕事がない日に整理しています。いっ、終われるかと苦笑いの日々です。母の終活を通して、私自身を振り返りました。この2~3年袖も通していない服や、書籍等々...

母と全く同じです。私も整理、片づけをすれば、これからの生活のために必要な物は今の $\frac{1}{2}$ ほど、や $\frac{1}{3}$ になると、思います。

元気な間に負の財産を処分しよう!!

子供や孫達に今の私のような思いをさせたくはありません。

母からそのような事を教えてもらった様に思います。

溜まった物品をひとつずつ片づけながら人生の振り返りも出来ます。残りの人生を、より楽しく爽快に生きていく為の準備です。あの世にまであつちやこつちやは持っていけません。

私の持っていけるものは信仰のみです。

何もなくても御題目を唱え日蓮大聖人のお側へ参る事が出来れば大希望です。

少しづつ終活しながら、心も穏やかに人生を見つめて行きたいと思っています。



## 「タレ言する」

「生きてますか?」「大丈夫ですか?」若いスタッフから、このように言葉をかけてもらう事があります。

数年前から更年期の症状があり、体のたるさが強く勤務も変更してもらうなどしてもらっています。

その前までは、症状があってもSOSが出せず、仕事中 負荷が強いと体が重く、涙があふれ出るようになりました。

お上人から助言もあり、スタッフや上司に伝えるようにしました。

すると、嫌な顔されたり、いろんな事言われると思っていた自分がいたのですが、周りのスタッフの配慮や、やさしさを体感しました。

自分だけが一人で壳<sup>レ</sup>に閉じこもっていたんだと気づきました。

言わないと周りにはわからないという事をあらためて感じました。

タレ言する事で相手にそうなんだと思ってもらえ手助けしてもらえる。そのハードルを上げてたのは自分自身でした。

子供の頃から内にため込んでしまい、何分のきっかけで怒りがでてしまっていました。そんな内弁慶な自分がいて人に伝える事がとても苦手でした。

仕事をしていくうえで伝える事や発信する事の大事さ、言わずに私を分かってよは単なるわがままであり、自分勝手というもの。

言葉にして伝える事でおのずと結果がでる。

自分は今年に入り、自分の今の思い、体言周について相手に伝えたからこそ、最初に書いた「生きてますか?」「大丈夫ですか?」の声をかけてもらうようになりました。

今は感謝と共に、体を早く直したいと日々思い、過ぎていきます。

## < 6月行事予定 >

6月13日(火) 10:00~

宗祖日蓮大聖人報恩会

18日(日) 10:00~

鬼子母尊神  
七面大明神 ) 祈禱会

## < 6月住職の予定 >

寺院にて法務

6月22日(木) 寺院総会(宗務所)  
14:00より

## < 6月の予定 >

6月6日(火)

各々の時間で

清掃準備

↓

12日(月)

↓

↓

13日(火)

法要後

片付け準備

14日(水)

各々の時間で

清掃準備

↓

17日(土)

↓

↓